夕刊
いわき民報
発行所
平市田町 電176 381 1222
いわき民報社
編集兼印刷発行人 田原登

針はオ[illegible]ガン
ミシンはツガミ
月賦現金販賣
鈴木ミシン商會
平市白銀町電一〇九八

初日から波乱呼ぶ
平事件公判再會さる

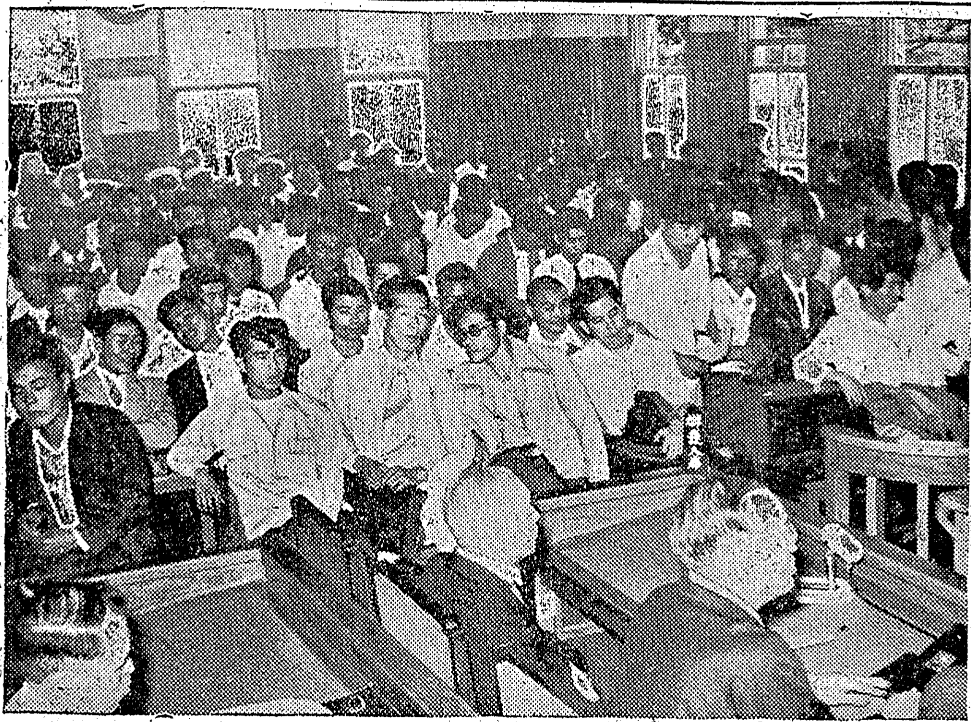
人定尋問を終る
被告は殆んど出席

壁新聞掲示板をきつかけに一昨年六月三十日平市署を不法占據、終戦後初の騒擾罪に問われた平事件の再開第一回公判は二十五日午前十時から地裁平支部で山田裁判長、恒次、羽染両陪審、福田補充の四裁判官かかり、高橋主任、三浦、鈴木の三検事と大沼副検事の検察団並に私選辯護人は自由法曹団から岡林（主任）大塚、地元から大嶺、国選辯護人は地元の眞木、永野、秋元、門伝、増田野崎と三特別辯護人等各辯護団立会いで開かれた、自由法曹団側は公判の延期を策し、十月再開審理統一を要望しているのに対して、地元官選辯護団は分離公判に依る早期終決を目論み、辯護団の不統一を見るに至つた、一方公判廷に於ては初日から審理妨害の挙に出るなど波乱を呼び、この日は人定尋問だけで終つた、二日目の二十六日は検事の起訴状朗読に入る模様

自巳紹介せよと要求
裁判官これに應ず

午前九時五十五分各被告入廷、百五十六被告の内七首魁をはじめ百四十五名が出所、欠席十一名、午前十時十分添田被告が京浜地区統一労組からのメッセージを読みあげている時、同十五分山田裁判長ら四裁判官が入廷開廷、直ちに人定尋問に入り裁判長『名前を呼ばれたら返事をしなさい』その時各被告ら口々に〃裁判官の顔がわからない〃〃自己紹介をせよ〃

裁判長『わかつた』このとき佐々木、鈴木（磐）添田らの各被告ら口々に〃なにもわかつてないではないか〃〃被告はこれから名前を呼ばれても返事はしない〃〃何故裁判官を変更したかその真相を要求する〃裁判長はこれらにかまわず被告の名前をよんで行くと被告は〃出席者の名前は入口の受附けで取つているではないか、それを見れば判るはずだ〃更に〃傍聴者を制限するな〃〃警備隊を即時撤退させろ〃などと語気も荒々しく主張すれば、岡林べん護人も立つて『公判時前に被告と何も打合せをしてないため統一べん護も出来ず更に裁判官の名前も知らなくては不自由だからべん護人からも要求する』佐々木被告『福島公判のときは長尾裁判長らは自己紹介した筈だ、それなのに平公判の裁判官は出来ないのか』と発言すれば裁判長『そのためにも法廷入口に名前が書いて掲示してあるのだ』と釈明すれば岡林べん護人『それは一つの形式だ、被告の名前を受附けるのと同じわけだ』と喰い下がれば裁判長は『べん護人の要求によつて裁判官の氏名は人定尋問終了後に明らかにする』と返答、審理を進めようとすると同十時二十九分岡林べん護人から『被告と打合せをしたいから』といつて休廷を要求すれば山田裁判長は『十時四十五分まで』の休廷を許可して退所、べん護人と被告らが打合に入ると先ず松木被告『必ず法廷でなければいけないという理由はないと思う』といつて各被告の同意を求めると〃じやまの居ない所でやろう〃などの意見もあつたが岡林べん護人から『限られた時間だから打合せを早く行つた方が良いのではないか』との話があつたとき十時四十五分裁判官が入廷、再び審理は進められた、この時鈴木（磐）被告が『裁判長はまだ名前をいわない、我々は何故裁判官が変更されたかという真相を要求するとともに松川事件の全被告の釈放を要求する』と発言があつたが裁判長は発言を中止すると鈴木被告は更に『私は発言を要求して許可されたものと解釈した』と言うと裁判長は鈴木被告の退廷を命じた、その時法廷内は騒然として鈴木被告は裁判長に〃理由は〃とはげしくつめより岡林べん護人から十一時十三分に『裁判長はあくまでも退廷を命じるならば裁判長を忌避する』と忌避の申立てがあり裁判官は直ちに合議に入り十一時十五分に合議の結果退廷を取消した、その時添田被告は発言を求めるが許可されず時田書記から裁判官の紹介が行われ十一時十八分人定尋問に入つた、十四番木村被告の人定尋問ののち松木被告から『正午休廷にして欲しい』と要求があり十五番門馬被告の人定尋問終了後十一時四十五分正午休廷に入つた、午後一時十五分から再開された


開らかれた平事件公判

多數の傍聴者押掛く

此の日平市の空はどんよりとし雨雲に覆われ何となく重苦しい空気に包まれ明けきらぬ朝の静けさをついて疾駆する常磐地区警備隊のサイドカー、警備車などがものものしい、東の空の白む頃から傍聴者の群れはこの世紀の大公判を一目見んものと続々と揚土台に長だの列を布き、午前七時早くも七十枚の一般傍聴券は札止めとなつたしかし締出された傍聴者の群れはあきらめきれぬまゝにせめて外部からでも公判風景を眺めようと公判延前に陣取り、いかめしい鉄カブト姿の警察官、被告たちの往来に眼を見張つている、午前八時三十五分首謀者の一人鈴木光雄氏が自由法曹団岡林べん護士と同道で薄ネズミ色の背広から白い開きんシャツのえりをのぞかせて裁判所の門をくぐる、待ちかまえていたニユースカメラマンのフラッシユがまぶしいせん光を浴せかけるのもつかの間、当の鈴木氏は柔和な口もとに微笑を浮かべつゝすい込まれる様に被告人控所へ消えた、人と車とカメラのフラッシユとが交さくする法廷前の風景は三年前に発生した小雨そぼ降る日の平事件当日を思わせるものがあつた

万一を警戒
百五十名を動員す

此の日万一に備え平地区自治両署常磐地区警備隊では武装警察官約百五十名を動員、市内各所法廷等の警備に当つた

矢郷労組健全に誕生
發端者だつた

三十日で丁度満二年目を迎える平事件のそもそもの直接的発火点となつたものは赤色炭鉱労組の牙城であつた当時の矢郷炭鉱労組であつたがその後時代の変移に伴い、面目を一新この穏健全労組が誕生されるに至つた—

事件後の矢郷労組は経営至難で潰れ、多くの労働者は生活苦におわれ絶望の淵になげ出されたがその後王城第三坑（経営者河合昇氏）が従業員七十三名をかゝえて再生従業員の中には建全労組の確立に矢郷労組当時から過激分子と斗つて来た山田弘氏らが中心となつて去る二十四日午前九時から組合結成大会を開催するに至り、遂に日鉱加盟を万場一致決定、組合長に山田弘、副組合長小針春雄、書記長内川昭の三氏を選出、今後の行動方針なども決めた

宛ら組合大會
騒々しい公判スケッチ

世紀の大公判をスケッチする法廷のおもて＝世紀の大公判を孫の代まで語り草にしようと腰べん姿でかけつけた田舎のおやじ、被告の身を案ずる近親者、学生、街のおかみさん等々が延々長だの列を布いて傍聴券の争奪戦を演じている其の間を縫つて抜け目のないアイスキャンデー屋が客を呼んでいる登校途中の学生群が、もの珍らし気に立ち止つて交通整理のお巡りさんを手こずらせている、カメラマンのフラッシユがピカピカ閃光を放ち、警備隊のサイドカーが往来する辺り映画会社のロケを思わせるものがある、予期に反してデモ隊と警備隊のイザコザもなくほかは案外平穏、万一に備えて造られた法廷前のさくには子供たちがキャンデーをかじりながら鬼ごつこをしていた　法廷内＝東北一を誇る此の法廷も入つて見れば案外せまく被告を収容すると傍聴席は七十名がヤツト入れるだけ、被告の大部分はワイシヤツにノーネクタイ、アロハシヤツも点々と散在する、さすがは女性被告『裁かれる身とて女の身だしなみは常にキチント行儀よく』とクシの通つたパーマネントに薄化粧、アイロンのかかつた真白いブラウスといつたすがすがしいいでたち、出たり入つたり取材にいそがしい新聞記者、パツパツとフラッシユをたくカメラマン、これが裁判ちゆうもんかと余りの騒々しさに驚嘆の眼を見張る傍聴人、かくして午前十時十五分公判の幕が切つて落された、開廷早々から『裁判長、裁判長』と連呼しつゝ、立ち上る被告、両手を腰に当てたり泳ぐ様に前へ出したりしながら叱る様な口調で発言する被告等の姿を見ていると組合大会を傍聴している様なさく覚を起させられる『裁判長声が低い』『聞えまセン』『オシツコへ行かせて下さい』けんけんごうごうたる騒ぎの中にみみずがはう様な速度で公判が進められて行く、民主主義時代の裁判とはかくもマタ騒々しきものかなと驚かさるを得ない

アジ・チラシを多數撒く

日共石城地区委員会ではこの日『全面講和の統一戦線で平、松川事件の陰謀を粉砕しろ』と題するアジチラシを撒布した

二八會開く
兩氏を招き

教壇生活四十五年で今春退職された元磐中教諭山崎宣吉先生の労をねぎらい又今夏国会電通委員会団長として電気事業視察のため渡米するクラスメート関内正一代議士の壮途を祝うために催された磐中第十六回卒業生の二八会は昨二十四日正午から市内越の家で開かれたが、出席者二十八名（卒業生七七名内死亡二〇名）近年まれに見る盛会であつた

天気予報 二十五日

【今晩】東よりの風曇時々小雨もよう
【明日】北東の風雨のち曇時々小雨パラツク、海上は今夜半頃多少アレもよう漁船は注意

優[illegible]社員急募
◇契約社員 五名 ◇資格 市内居住者（通勤可能なる方は近辺にても可）にして二十五才以上の男女 ◇待遇 面談の上決定します ◇携行品 自筆履歴書持参の上来社されたし
右志操身体共健全なる方 平市丁二目二五 常磐商事株式会社

裁斷科生徒募集
（特色ある裁斷）
晝間部 三カ月
夜間部 三カ月（夜間部は本年度）最後の募集
始業 7月2日
申込所 マルトモホール
十字洋裁學院

ミヤコオウギ
美や古扇と
大文字屋特製
香水
近日入荷
『黒水仙』
『MOKUSEI』
藤越 化粧品部電1281

貸間
幼児なき家族を望む
姓名在社 ⑳

靴
専門店
菊一
市三丁目電446

◇開店◇
皆様の御推賞により
雪印バター姉妹品
雪印アイスクリーム
小売販売希望の方は御引見を乞います
品川工場より冷蔵自動車にて直送せる新鮮な品をどうぞ!!
マルサ
平市平和通り

時計の誠光堂
誠光堂の時計
正確な時計の御用は一流製品を扱う誠光堂へ
修理も正確で迅く丁寧しかも安いと目下大評判です
誠光堂
平市御座道 電988

開店
皆様の食堂が出来ました
お風呂も新設してございますから
◇御商談に ◇御会合に
◇御家族同伴でお出掛け下さいませ
湖畔
平市大町五 電637

恒例
銀座街夜店
本年も七月一日より開始
出店御希望の方は六月三十日までに
事務所『いづみや』まで 至急お申込願います

多衆で市署を占據
靜ひつを亂し騷擾す
平事件起訴狀の概要

平市署々長本田正治は二十四年四月十三日平市大町十八長江久男（三三）申請にかかる平市田町平駅貨物取扱所前に七月二十日までの期限を付して掲示板設置のため道路一時使用の許可を与えたところ、共産党石城地区委員が該掲示板に官憲の民衆に対する党弾圧その他文書図画等を貼付し、一般民衆がこれを閲覧するため常時交通妨害の事実があつたので六月二十五日右長江久雄に対し右掲示板の存在することが交通妨害という理由のもとにその撤去の告知をした、然るに同人は一たん許可になつたのであるから外すことはできないということで同署長は改めて許可取消し六月二十七日午後五時迄撤去する様通告書を出したところ、書面は何物かによつて同署に投げこまれ返戻された、そこで同署長は同地区委員会の幹部、朝連の役員金明福を招致、その撤去方を促したところ、同人は地区委員会としてはこれに応じ難いと思うが市署長の要求では機関に諮るといつて立去つた、同署長は同月二十七日になつても同委員会から何の回答もなく撤去する様子も認められないので実力を以て撤去する考えで代執行令状を石城地区委員長鈴木光男に交付しようとしたが拒否された、同日午後三時ごろ右鈴木光雄鈴木磐夫の両名は同署長に面会し掲示板の撤去を命ずることは共産党に対する弾圧であると指摘して退去した、その後間もなく地区委員等約五十名が同署に押し掛け署長の許可取消の撤回方を迫りこの対談中同志の者は続いて同署前に集り気勢を挙げ不隠の情勢となつた、同署としては同日隣接の内郷町矢郷炭鉱の労働争議が悪化し労組と、反共派の自由同志会が対立し一触即発の情勢にありこれが警備のため平地区、市署、湯本町署員が内郷に待機していた状勢もあり、市署の危険を感じて同日午後四時半頃これが警備のため平地区湯本、内郷各署より警備応援を求め平地区署に待機せしめた、併し同署長としては掲示板撤去問題で右の群衆を必要以上に刺げきし事態を悪化させることは得策でないことを考え、同日掲示板撤去の代執行を断念してこれを移転する事の右地区委員会の要請を容れて一応右事態を収拾し右地区委では一日交渉を打切り同日午後七時半ごろ全員退去した、六月二十八日地区委員会側は市内各所に警察を非難したビラを貼付し宣伝啓蒙に終始し、他方矢郷炭鉱及地区委、朝連などの百五十名は内郷町署におしかけ、警察は吾々の争議に手を出すなと牽制し、又労組党員、朝連約四十名が派出所におしかけて同様の事を言つて牽制し不穏の気勢を示したが事なきを得た、それで平市署長は翌二十九日午前九時前示鈴木光雄、金明福両名を招致して三十日午後四時迄右掲示板を撤去しなければ代執行する旨申し渡し両名は適当な場所を見つけて移転すると申し同十時半頃退去した、六月三十日午前十時地区委員会委員朝連など百五十名は湯本町前署長に又他の一隊約百名は午前十一時頃内郷町署長に対し、警備の為平市に湯本、内郷両署の警察職員を派遣しない旨の確約をせよと要求し右両署員を夫々の部署にクギ付けにした、同日午後四時に掲示板を撤去する事はできないからその要求をとり消せと抗議し更に同日午後一時前鈴木光雄、金明福は平市署長に面会し、署長があくまで掲示板撤去を固執するならばこれに依つて生ずる結果については吾々に責任はない、警察側で責任を負うべきものと申し退去した併し間もなく金明福は同署長に面会し署長の掲示板移転要求を撤回せよと執ように抗議し同署長はその申出を拒否したので同人は暗に実力を行使する様な口ぶりをもらして退去した、右金明福が立ち去つて間もない同日午後三時半ごろ平市田町〝大貞〟方面より平市署に向つて赤旗を掲げ、インターナシヨナル等を合唱しながら行進して来た労組地区委員会員等のデモ行進の一隊が平市署玄関前に迫り侵入せんとしたので署長はそれに対処するつもりで署員約三十名を玄関その他に配置し代表者その他の署内に侵入することを阻止せしめたところ右デモ行進の外に平駅方面よりトラックに乗り込んで来た一隊、更に同方面よりスクラムを組んで行進して来た一隊、その他地区署前、朝連事務所より来た一隊、其数三百名は玄関口で署員の懸命の阻止をも肯ぜず署内に侵入した利川鎮吾を住居侵入罪により検挙せらるるやここに警察職員と尚も署内に侵入せんとする共産党員が衝突、右暴徒は戸外より石を投げ玄関のガラス戸を破かいしこれが警備の指き者司法主任警部補金田功外警察職員十三名を棒杭等に殴打投石により重軽傷を負わせ一挙に署内に乱入し階下事務室、署長室を占きよし、特に署長室には約百名が署長を包囲しその内の代表鈴木光雄、金逢馨、金明福、西岡敬三郎、鈴木磐夫、日野定利、熊田豊次等は同署長に対し多衆の威力を示してこうして事件が起きたのは署長の責任だ、署長をやめろ湯本、内郷に応援警官を動かした理由如何、矢郷炭鉱の坑夫が死んだのは署長が殺したも同然で殺人幇助だと脅迫し、ば言雑言を浴びせかけた右暴徒のうち平子正孝等巡査織井安吉の十四年式拳銃（実砲四発入）を奪取し、第四房の南京錠の金具を引抜き同房留置中の前示署内の不法侵入現行犯の利川鎮吾を解放し、この監房の中に織井巡査を監禁し又暴徒は同署正面玄関に人民政府の警察成れりと呼号しアカハタ二本を交叉して掲げ署内に於てアカハタを振りまたはインターナシヨナルなどを高唱するなど同日午後三時半ごろより同日午後十一時半頃までの退散まで多衆集合して暴行又は脅迫し同警察署を不法に占きよしその間、平市長橋町尼子橋のそでその他の要所に棍棒を携帯した見張員を配置し警察に対する応援防止に当らせ警察機能を完全に喪失せしめ同署及附近一帯の静ひつをかし乱し以つて騒擾したものである

成澤の汚水問題再燃
兩委員會で視察抗議す

永戸村大利、成沢炭鉱の洗炭汚水問題は一時県の命令で設備を整えたため心配がなくなつたが最近に至りまたくこの汚水が好間村の水源地を侵しているので去る二十三日、平市水道、衛生部委員全員並に大嶺副議長ら一行が成沢炭鉱を訪れ、現地を視察した結果、洗炭汚水の排水設備が破損した原因によることが判り沓掛社長と折衝『来月中旬までには破損箇所の修理をする』との言質を得て来た

古河組が惜敗
軟式縣大會・日東第二に凱歌

第一回東日本軟式野球県大会は二十三、四の両日午前十時半から平商、平工両球場に県下各地区予選を通過した強豪十三チームを集めて華しく挙行日東第二工場にがい歌挙る、成績左の通り

第一試合　内郷鉱6−1日東第一工場　古河炭鉱5−3日東富久山工場　第二試合　内郷鉱2−1原町クラブ　日東第二工場8A−2飯坂クラブ　古河炭鉱9−0猪苗代クラブ　磐崎鉱2−0アブクマクラブ

準決勝　日東第二工場1−5内郷鉱　古河炭鉱8−5磐崎鉱

決勝　日東第二工場5−2古河炭鉱

籠球大會

教組石城支部第七方部、（湯本地区）籠球大会は二三日午後一[illegible]ら磐崎中に開き男子部湯本中、女子部磐崎中が優勝した、第三区（内郷地区）では同日好間中に排球大会を開き男子部内郷一中、女子部内郷二中、野球大会では内郷二中がそれぞれ優勝、郡大会に出場することになつた

野球リーグ戦

小名浜町野球協会主催の町内野球リーグ戦廿三日の戦績は次の通り

役場	1	0	0	1	0	2	0	4
新光	0	0	3	0	0	1	1	5
議会	0	0	0	0	0	0	0	A 0
シルバー	0	0	0	0	0	0	1A	1

軟式野球
菊多方部成績

菊多方部野球連盟主催軟式野球予選大会は二十四日磐農高、植田中小グランドで二十余チームの熱戦が展開されたAクラスで準決勝出場の資格を得たチームは植田土木対三松が七対五で土木が快勝、品川対川部は二対一で品川辛勝、土木対品川の準決勝は来る二十七日植田小学校で覇を競う事になつた尚AB両軍の優勝決戦は七月一日行う予定

バレー豫選
四組が出場

全日本バレー協会主催の全日本バレー総合選手権大会石城予選は二十四日午前十時から磐女校庭で開き男子一般は呉羽化学、磐高、女子一般は平商、磐女の四チームが来る七月八日福島で開かれる県大会に出場することになつた　成績次の通り

【男子一般】準決勝
磐高2−0古河炭鉱
呉羽化学2−0FT（平）
決勝
磐高2−0呉羽化学

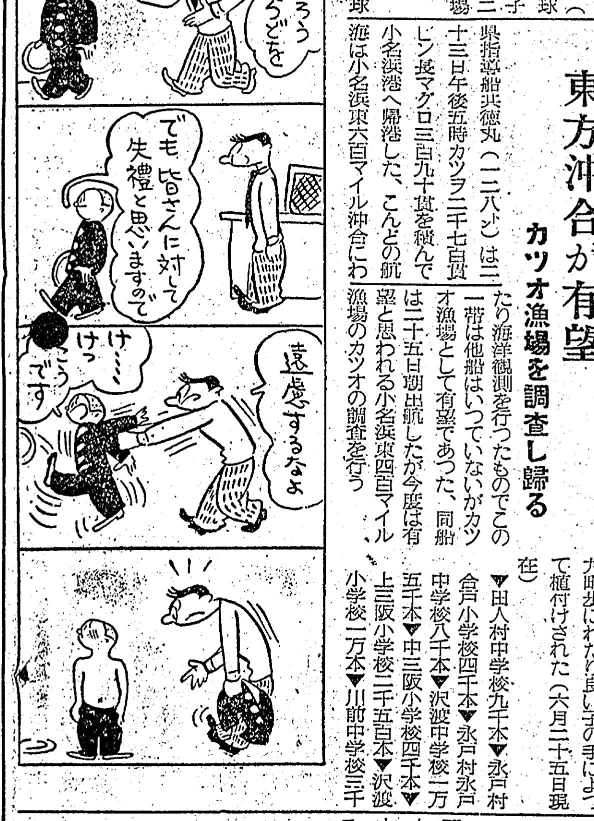
【女子一般】準決勝
磐女2−0磐農
平商2−0小名浜
決勝
平商2−0磐女

東方沖合が有望
カツオ漁場を調査し歸る

県指導船共徳丸（二八ト）は二十三日午後五時カツヲ二千七百貫ビン長マグロ三百九十貫を積んで小名浜港へ帰港した、こんどの航海は小名浜東六百マイル沖合にわたり海洋観測を行つたものでこの一帯は他船はいつていないがカツオ漁場として有望であつた、同船は二十五日朝出航したが今度は有望と思われる小名浜東四百マイル漁場のカツオの調査を行う

九万本を植樹
八月に學校植林コンクール

二十六年度の学校植林運動に因んで来る八月に第二回学校植林コンクールが開かれるが、石城地方の状況は次の通りで総植林本数は杉苗八万九千百本で植付面積廿九・九町歩にわたり良い子の手によつて植付けされた（六月二十五日現在）▼田人村中学校九千本▼永戸村合戸小学校四千本▼永戸村永戸中学校八千本▼沢渡中学校一万五千本▼中三阪小学校四千本▼上三阪小学校二千五百本▼沢渡小学校一万本▼川前中学校三千本▼川部中学校一万六百本▼磐農高三千本▼入遠野中学校六千本▼泉村中学校二千本▼川前桶売中学校三千本▼上三阪小学校六千本▼川前中学校三千本


ヘイさん
273
中島安男
君暑いだろう上衣脱いだらどを
でも皆さんに対して失禮と思いますので
遠慮するなよ
け…けっこうです

平のネエさん
小唄放送

二十六日夜七時半

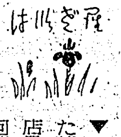
平芸妓屋組合のねえさん方が二十六日午後七時半から三十分間、ローカル放送で長唄と小唄の放送することになつた

長唄【越後獅子】
▼出演者ー唄　美の家　小美代
〃　鈴よし　かほる
三味　升むら　つた次
〃　君　春小〆

小唄【上しめ】
唄　梅本　助六
三味　山形家　山路

小唄【落人、都鳥】
唄　山形家　山路
三味　鈴よし　かほる
梅本　助六

はりぎ夜



▼二十四日行われた某デパートの女店員採用試験問題回答の一部をひろうと…▼英語アルファベットの数（珍回答五八、三八、八）アナタハン島（一番無回答多し）貞明皇后（大体回答している）山本富士子（珍回答女子陸上選手）オリヴイア・デ・ハヴイランド（無回答多し）エチケット（中に無回答者もあつた）リツジウエイ将軍（大体回答）細雪の原作者（珍回答小島政次郎、菊地寛）自由学校原作者（石坂洋次郎、アンドレ・ジイド）▼面接の時には真剣になつて泣き出した女性も二、三いたとか…

ラジオ JOCP JOHQ

ローカル（26日）郡山放送

後6・30　ふるさと物語（第十一夜）後7・30　池ノ台演芸場長うた『越後獅子』小美代ほか　小うた『色気ないとて　みやこどり』山路助六ほか

皆様の利益を護る店
平の大黒屋

Conflict
追求
ウォーナー・ブラザース映画
探てい映画のヒツト　ハンフリイ・ボガード
アレクシス・スミス主演　26日より5日間
聚樂館

通學服は　ふかや

一度たべたらわすれられない
あの味と言います
スキー　とんかつ　ウスター　ソース
發賣元
東京　宮田延治商店

眼鏡專門　各眼科医指定
玉屋
平市二丁目　電910

事務用品　學用品　旗　幕類
日進商事
平市田町　平自治署隣

大人40エン
小人20エン
朝日新聞連載小説の映画化
七色の花
原節子　角梨枝子　杉村春子　龍崎一郎
混亂と頽廢の巷に美しき悲戀の花は妖しくも咲き匂う
26日より　平文化

外科　胃腸科　呼吸器科
整形外科
放射線科
看護婦募集
松田武一
春山廣臣
今村敏春
松田病院
小名浜町駅前通り電四三四

[illegible]